

# 「みんなのまちづくりゲーム in cities」の誕生

地域経済やSDGsを学ぶ新感覚ボードゲーム



国立大学法人横浜国立大学（以下、横浜国立大学）の池島祥文准教授（大学院国際社会科学研究院）、志村真紀准教授（地域連携推進機構地域実践教育研究センター）、伊集守直教授（大学院国際社会科学研究院）と一般社団法人南三陸研修センター（以下、南三陸研修センター）は、共同で研修型ボードゲーム「みんなのまちづくりゲーム in cities」を開発し、南三陸研修センターから4月の販売開始を予定しています。本ゲームは、南三陸研修センターの地域経済を学ぶ研修型ボードゲーム「みんなのまちづくりゲーム」を改編して、横浜・神奈川を題材として都市部を含む地域経済やSDGsをチームで楽しみながら学べる研修・教育の新感覚ボードゲームです。

## 【誕生の経緯】

今回開発した「みんなのまちづくりゲーム in cities」（以下、みんなまち in cities）は、2015年に南三陸研修センターが販売開始した「みんなのまちづくりゲーム」（以下、みんなまち）を改編して開発された商品です。

横浜国立大学の池島祥文准教授（大学院国際社会科学研究院）、志村真紀准教授（地域連携推進機構地域実践教育研究センター）、伊集守直教授（大学院国際社会科学研究院）は、みんなまちの循環経済・地域経済をチームで考えるだけでなく、高校生から、大学生（授業やゼミ）、社会人（企業研修等）と対象の範囲も広いという優れた特徴に着目し、2017年から

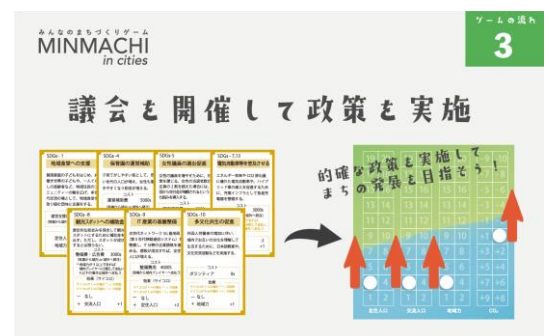
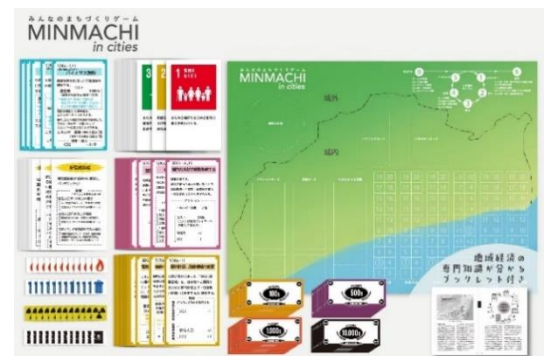
南三陸研修センターと共同で、横浜・神奈川版を意識した改編を開始しました。大学の大人数授業では地域が疲弊していることやそこからの地域再生が必要なことは学べても、その仕組みを一人一人が体験できるような仕掛けが難しく、机上の学びになりがちでした。そこで、地域経済や地方財政の仕組みを擬似的に体験できるゲームを授業に取り入れようと、「みんなのまちづくり」に着目しました。また、神奈川県は都心に近い東部とそれ以外の県央、県西と大きく性格を異にしており、全国的には首都圏にある豊かな地域と認知されている一方で、県内における都市間格差が大きいという特徴があります。「みんなのまちづくりゲーム」が震災復興に取り組む南三陸町を想定した設定になっていますが、「みんな in cities」では都市部や地方都市も含めて、より日本全国を想定してのプレイが可能となりました。本ゲームを通して、「地域経済、エネルギー、環境、SDGs等まちづくりにおける大切な要素を、ゲームを通して楽しく学び、まちづくりを自分ごとにしてできる社会を実現したい」という願いを込めています。

### 【みんな in cities の概要】

このゲームでは、チームで地域の経済や行財政の仕組みを学びながら、自分たちが住みたいと思える、まち・地域を実現するためには、どのようなアクション・政策が効果的なのかシミュレートすることができます。ゲーム上で数年間分(3～5年が目安)のプレイを実施することで、まちがどのように変化していくのかを理解することができます。

### 【みんな in cities の特徴・効果】

- ・ゲームをプレイするだけで、地域経済や、地域とSDGsの関わり、人口と環境など、まちづくりの要素が自然と体感できます。
- ・ブックレットを読むとゲームの前提となる「地域経済」「地方財政」における課題を学ぶことができます。
- ・楽しみながら、地域内経済循環と役場、域外とのお金の流れなどを学ぶことができます。
- ・SDGsとまちづくりの具体的なつながりを考えるきっかけとなります。
- ・オリジナルの政策やアクションカードを作成し、オリジナルのまちづくりが可能です。
- ・目標に向かってチームで議論をすることが欠かせないので、ゲームを通してチームビルディングをすることが可能です。
- ・ボードゲームの前後に実際の地域でのフィールドワークと組み合わせることで理解が深まります。



## 【今後の展開】

- 2022年2月21日 南三陸研修センターからクラウドファンディングによる先行販売開始
- 2022年3月31日 クラウドファンディングによる先行販売終了
- 2022年4月上旬 先行販売分の商品発送開始
- 2022年4月上旬以降 「みんな in cities」特設Webサイトにて一般販売開始

## 【開発者からの一言】

・地域で創られたまちづくりゲームに大学の専門的知見を組み合わせることで、大学での教育はもちろん、地域での高度な学びにつながる仕掛けを生み出すことができました。ぜひ、日本全国でのプレイを通じて、地域再生に貢献できれば幸いです。横浜国立大学 池島祥文

・数年間の改良・改編期間を踏まえて、横浜国立大学の授業のなかで学生たちが楽しみながら学んできた教材が、やっと販売されることになりました。地域経済・地域行財政の観点からまちづくりを楽しく学べるゲームとなっていますので、高校生、大学生をはじめ、行政や企業の新人研修の機会や、まちづくりに関わりたいと思っている方にオススメです。横浜国立大学 志村真紀

・高得点を狙ってゲームを進める楽しさはもちろんのこと、まちづくりの目標や政策実施などについてメンバーと話し合いながら、楽しみや学びを自分たちで発見していけるというのも、このゲームの魅力だと思います。横浜国立大学 伊集守直

・未曾有の大震災から11年。他の地域に先駆けて課題解決のアクションにチャレンジしてきた復興の道のりでした。本ゲームは、こうした南三陸の学びを、全国各地やまちづくりへと反映させていくことができるツールとして大いに期待しています。南三陸研修センター 浅野拓也

## 【関連情報】

・みんな in cities の公式サイト【まちづくりをゲームで体感】地域経済やSDGsを学ぶ新感覚ボードゲーム誕生（クラウドファンディング情報掲載）

<https://camp-fire.jp/projects/555946/>

・みんなのまちづくりゲーム | みんな公式サイト：<http://ms-lc.org/minmachi/>

・横浜国大発！オンラインゲームで学ぶまちづくり

<https://www.chiiki.ynu.ac.jp/news/000104.html>

本件の教育・研究に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 地域実践教育研究センター E-mail: [chiki-ct@ynu.ac.jp](mailto:chiki-ct@ynu.ac.jp)

みんな in cities に関する問合せ先

南三陸研修センター E-mail: [info@ms-lc.org](mailto:info@ms-lc.org)